



松本秋則／アキノリウム in OMACHI

大町温泉郷内「旧酒の博物館」にて絶賛公開中

Photo by Simpei Shimokawa

北アルプスの湧水から良質な地酒を造る信濃大町。

酒造りに使われた大きな酒樽や、全国の清酒などを展示していた「酒の博物館」が、芸術作品の展示場として期間限定で再オープンします。

影絵や竹を素材としたサウンドオブジェを創作するアーティストが、信濃大町の自然をテーマに、雪の中の杉林、水が滴る池などの原風景を表現しています。風の流れをとらえて動き続けるサウンドオブジェからは素朴な竹音が響き、時間とともに絶えず変化する空間により、一期一会の世界が体験できます。今年度に開催する「北アルプス国際芸術祭 2024」でも公開予定の作品ですので、ぜひ一度ご覧ください。

■展示場所：旧酒の博物館(大町温泉郷内)

■開館日：4月27日から7月28日の土日祝日

■開館時間：10:00～16:00

■入館料：300円(中学生以下無料)

※大町温泉郷に宿泊する方については各ホテルのフロントに無料の入場券があります。

作家：松本 秋則(まつもと あきのり)

1951年埼玉県生まれ／神奈川県在住。主に竹を素材としたサウンドオブジェを創作し、自動演奏によるサウンド・インスタレーションを展開。現在は美術・音楽・演劇などと融合した“アキノリウム”を試みている。

お問い合わせ先：大町温泉郷観光協会 TEL：0261-22-3038